



2025年4月14日

各位

会社名 株式会社ロゴスホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 池田 雄一  
(コード番号: 205A 東証グロース市場)  
問合せ先 常務取締役 経理部部长 岩永 武也  
(E-mail ir@logos-holdings.jp)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年1月14日に公表いたしました2025年5月期(2024年6月1日～2025年5月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 2025年5月期通期連結業績予想数値の修正(2024年6月1日～2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年1月14日)	百万円 37,074	百万円 886	百万円 820	百万円 442	円 銭 113.32
今回修正予想(B)	35,472	250	165	6	1.63
増減額(B-A)	△1,602	△635	△655	△436	
増減率(%)	△4.3	△71.7	△79.8	△98.6	
(ご参考)前年実績 (2024年5月期)	31,714	1,391	1,358	890	230.73

#### 2. 修正の理由

2025年1月14日に公表した通期連結業績予想の修正に続き、以下の理由により、再度の下方修正をおこなうことといたしました。

まず、当社グループ会社である豊栄建設株式会社において、2024年第2四半期時点で一時的に減少していた初回接客件数が回復傾向にあると見込んでおりました。しかしながら、2025年2月初旬に北海道・道東の帯広市において、国内観測史上最大となる12時間降雪量120cmを記録する大雪が発生するなど、北海道各地で記録的な降雪に見舞われました。この大雪の影響により、幹線道路・生活道路が通行不能となり、除雪作業は昼夜を問わず行われたものの、通常の生活に戻るまでには数週間を要する事態となりました。この結果、顧客の来場が困難となり打合せが延期、工事現場の積雪により着工が遅延、建築資材の物流が滞り納品が遅延するなど、多方面に渡り遅れが発生し、受注から引渡までのリードタイムが長期化しております。受注残は一定数確保しておりますが、今期中の引渡が困難な案件が増加し、来期への繰越の可能性のあるものの、現時点では確度を慎重に見極めている状況です。加えて、大雪の影響により来場件数が減少したことから、受注活動にも大きな支障をきたしました。その結果、2025年2月以降の新規受注は想定を下回る水準で推移しております。

上記の状況を踏まえ、全体の通期の引渡棟数予想については、前回修正の1,195棟から1,125棟へと、再度引き下げの見通しとなりました。

これに伴い、売上高及び各段階利益も見込みを大きく下回る見通しとなったことから、2025年5月期の通期

連結業績予想を、上記のとおり再度修正いたします。

### 3. 配当予想

今回の業績予想の修正に伴い、2025年5月期の配当予想に変更はございません。

現時点では、配当方針自体の変更を決定しているものではありませんが、株主の皆様への安定的な利益還元を目的として、普通株式1株当たり45.33円以上の配当（下限配当）を実施する方向で検討を進めております。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要な方針のひとつと位置づけており、現在及び将来の事業収益をベースに、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%～50%の株主還元を基本方針として、業績に応じた配当の実施を目指してまいりました。

しかしながら、M&A実施に伴う調達資金の返済財源の確保、M&A取得年度における業績への影響、さらに新規出店拡大に向けた先行投資の増加など、今後も成長戦略の推進を踏まえて、現行の配当性向の妥当性を検証しているところであります。

今後の配当方針につきましては、引き続き株主還元を重視しつつも、持続的な業績拡大と安定的な配当実施の両立を目指し、DOE（株主資本配当率）などの新たな指標の導入も視野に入れながら、従来の配当性向30%～50%の方針について見直しを検討してまいります。

今後、配当方針に変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、実際の業績と予想数値が異なる可能性があります。

以 上